

ネットコア通信

足尾の山に●緑●を取り戻そう！

先日、弊社社員数人（とその家族）で足尾の山の植樹活動に参加してきました。私は4年前に参加して以来ハマってしまい、今年で4回目です。毎回楽しんで参加させていただいています。

足尾といえば、何と言っても足尾銅山ですね。栃木県で小学校時代を過ごした方で行ったことがない人はいないでしょう。銅の生産に伴う環境問題はよく知られていますが、その中の一つが煙害による周囲の山の荒廃です。木々はすべて枯れ果て、文字通りの「はげ山」となっていました。右は、昭和52年ごろの様子です。その裸の山に100万本の木を植え緑を取り戻そうと活動をしているのが、足尾に緑を育てる会というNPO法人です。その方たちにお世話になり、活動をしてきました。

今私たちが植樹をしに行くと目にするのが、下のような階段状になった斜面です。この山は木が失われたことで土壌も流出し、そもそも植物を植えるための土がありませんでした。自然の力で土ができるまでにはなんと1000年もかかってしまうため、昔は人力で土を山に運び込んでいたのだそうです。しかも、女性もその労働力になっていたのだとか…頭が下がります。写真だとただらかに見えますが、実際は結構な急斜面で気を抜くと転がり落ちそうになるほどです。そこを、重い土を背負って上り、なおかつその土が斜面を滑り落ちていかないように処理をする…かなりの重労働です。そのおかげで現在私たちが活動できているのだから、本当にありがたいことです。

植樹は、以下の手順で行います。

①つるはしで、横20cm×深さ20cmの穴を掘る



これが一番大変でした。ある程度の深さがないと、苗木が雨で流されたり立ち枯れたりしてしまうそうです。よくサスペンスドラマで人が埋められる場面を見ますが、あんな大きな穴、人力で掘るのは無理だよね…と隣の方と話しながら掘りました。

②掘った穴に腐葉土と苗木を入れ、ペットボトル1本分の水をやる



今回は参加者161人で800本超の苗木を植えました。植える木はモミジやドングリ、ミズナラなどの落葉樹4～5種類でした。



代表取締役
篠崎 みのり

③掘った土を戻し、周囲を踏み固めて完了！



苗木が倒れてしまうので、体重をかけしっかりと踏み固めるのがポイントです。



植樹を終えると左のような感じですが、苗木同士の間隔が狭いように見えますが、これはすべてが大きく成長することを期待するのではなく、淘汰された方が生き残った方の肥料になるということだそうです。枯れてしまっても無駄にはならない…深いですね。

さて、植樹をしたからといって、これがすぐに森になるわけではありません。下の写真中央、若木がこんもりとしているあたりで、15年ほど経っているそうです。今回私たちが植樹したのはここに写っていないはるか左側で、木などないように見える写真左端は、既に数年経っています。一度破壊された自然を元に戻すには長い年月がかかるというのはよく聞くことですが、この光景を目にすると事実として突き付けられます。足尾に限らず、自然環境のために私たち一人ひとりができることはそう多くはありません。ですが、たくさんの人数で小さな一歩を踏み出せば、きっと何かが変わります。それをついでに楽しんでしまえる足尾の植樹って最高！と思える活動でした。



サポート終了まで残り約3ヶ月！

Windows 10のサポート終了って何が困るの？

今からできる安心準備ガイド



みなさんがふだんお使いのパソコン、Windows 10ではありませんか？
実はこの「Windows 10」、2025年10月14日でサポートが終了します。
今回は「サポート終了って何？」「今、何をすればいいの？」を解説します。

● Windows 10サポート終了に伴う3つのリスク

個人情報・機密情報漏えいの危険性

Windows 10のサポート終了により、セキュリティ更新が止まり、ウイルスや不正アクセスの被害を受けやすくなります。結果として、個人情報や機密情報の漏えいリスクが高まります。



ソフトウェア・周辺機器が非対応の可能性

今後発売されるソフトウェアや周辺機器がWindows 10に対応しなくなり、業務に必要な最新ツールの導入が困難になります。



OSの不具合が解消されない事態も

OSの不具合が起きても修正パッチが提供されず、サポートも受けられません。トラブル対応に多大な手間やコストがかかる可能性があります。



● Windows10サポート終了前の今！やるべきこと

①ソフトウェア・周辺機器のWindows11対応状況を調べる

現在使用しているソフトウェアや周辺機器がWindows 11に対応しているかを事前にチェックしましょう。非対応のシステムの改修や機器の入れ替えが必要になる場合も。

②Windows 11への移行に必要な作業、スケジュールを確認する

Windows 11への移行には、OS再インストール、データ移行、認証設定など多くの工程が必要です。特に基幹業務システムを使っている場合、業務に支障が出ないよう事前のスケジュールリングが欠かせません。

ハードもシステムも、Windows 11対応はネットコアにお任せ！

ネットコアなら、PC・プリンターなどのハード機器の選定・導入から、Windows 11に完全対応したオリジナル業務システムの開発・改修まで、すべてワンストップで対応可能です。
お客様の業務を止めない、安心・確実な移行をご提案します。



不安なこと、気になること、まずはお電話でお気軽にご相談ください！

028-649-0111

● クラウドサービスであれば、OSのサポート終了の影響はなし！

PC買い替え後もそのまま使える



- PC入れ替え時の手間・コストを軽減！
- ソフトの買い替え不要で業務継続がスムーズに！

セキュリティも安心



- 常に最新環境で利用可能
- 情報漏えい・トラブルのリスクを最小限に

IT導入補助金2025で クラウド導入がお得に！

導入コストがネック…という方は
「IT導入補助金2025」の活用を！
奉行iクラウドも対象です。
今が導入のチャンス！

奉行iクラウドは、信頼の業務クラウド

-  会計・給与・人事・販売などの業務に幅広く対応し、効率化を実現
-  テレワークや全国各地の複数拠点でもスムーズに利用でき、業務が滞らない！
-  最新の法改正にも迅速かつ自動で対応し、安心のサポート体制も万全

ネットコアは、株式会社OBCのビジネスパートナー（OAP）認定企業です。
奉行iクラウドの導入や運用のご相談は、ぜひネットコアにおまかせください！

Net-Core の中の人紹介

「ITエンジニアってPCのことなんでもわかる理系の人なんでしょ、よくわからないけど。」私も入社するまでそう思っていました。ネットコアの中の人とはこんな人たち。今期中堅メンバーのご紹介です。

システム技術部 大塚 陸斗

Q：システム開発を目指したきっかけ、また実際に仕事してみてイメージと違ったことはありますか？

A：ゲームが好きで、プログラムに興味を持ったのがきっかけですが、実際にはシステムの動きや仕組みを考えることが多いのが意外でした。複雑なことをまとめる必要がありますし、最初にしっかり考えておかないと後で手戻りが発生する可能性がありますのでプレッシャーも少し感じます。

Q：自分のためになったり、面白かった本や体験などを教えてください。

A：社内研修で毎月講読している致知です。仕事に対してや、人間力を鍛えるのに学べることが多くあります。道場六三郎さんの記事にあった、「『昨日よりもきょう、きょうよりも明日』と高みを目指していく。」という言葉があり、自分は現状に満足しがちなので、何歳になっても自分を磨き続ける道場さんの言葉に感銘を受けました。



エンジニアからのオススメ♪

おすすめのショートカットキー：Ctrl+z
操作を元に戻します。コードを書くときに間違えてしまったら、このショートカットキーが便利です。

おすすめのExcel関数：Vlookup関数
テストなどで、出力したデータを表にまとめて、条件に合ったデータを検索して見たい時に便利です。

今月号の内容

■足尾の山に緑を取り戻そう！

■サポート終了まで残り約3ヶ月！Windows10 サポート終了って何が困るの？
今からできる安心準備ガイド カスタマーサービス課

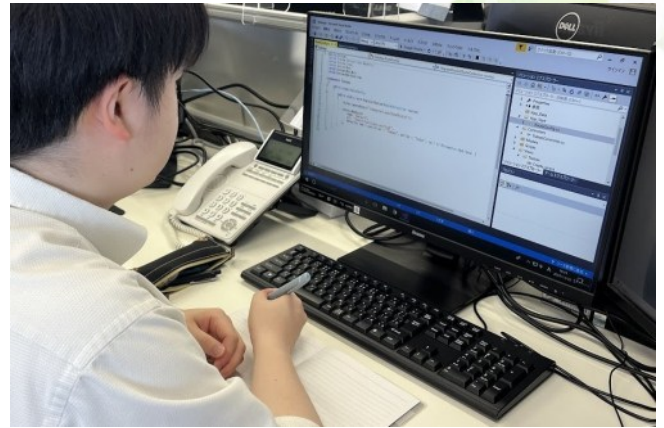
■ネットコアの中の人紹介

■共育委員会 今期の活動報告

共育委員会 今期の活動報告

共育委員会は、社員の人間力・業務知識の向上を目指し、社内環境の整備や社内研修・行事の企画運営を行っています。

今期の主な活動内容として、経営指針発表会、月例ミーティング等、社内の定期行事の計画や運営を行いました。社内行事を通して会社のビジョンや目標を全社員と共有できるよう、随所で経営指針書の再確認を促したり、社員が積極的に朝礼に参加できるよう改善案を提起することで、各人への理解・浸透を図りました。



MVC研修の様子



毎朝の朝礼の様子

また、新しい技術習得に向けた活動も行っています。各種セミナー等の情報を発信し研修参加の取りまとめを行ったり、共育委員会主導でプログラミング研修を行いました。

当社はICTソリューションサービスの専門会社として、お客様にワンストップサービスを提供することを目的としています。今後もお客様により良いサービスを提供することが出来るよう、社員の人間力・技術力の向上のための活動に努めてまいります。

共育委員会 小林俊陽

編集後記

4月からの研修期間が終わり新入社員は7月から配属になります。電話対応はじめ受け答えも随分社会人らしくなったように見えます。業務に関する課題も新人同士で相談しながら解決しており、『協力して学びあう』ことから得る知識と互いへの理解の過程と価値を、周りの我々も再確認できました。学びというのは新人研修のみならず社内のどんな関係であっても常に存在します。業務上のある課題の解決を上から下へ教授するのではなく、協働で解決し、組織の成功体験が個人の糧ともなる。集団における教育の原型を振り返る良い機会となりました。

発行 株式会社ネットコア

編集 吉田 裕子

住所 栃木県宇都宮市鶴田2-5-24クレインズ21 1F-A
(〒320-0857)

TEL 028-649-0111 FAX 028-649-0303

URL <https://www.netcore.co.jp>

E-mail netcore@netcore.co.jp